

(1) 開会式 校長挨拶

出席 (学校) 田川校長、間副校長、勝木教頭、伊藤教頭、保木本事務長
(評議員) 佐藤文昭、永田敦子 <敬称略>

(2) 学校評議員委嘱

(3) 学校評議員・学校職員紹介

(4) 学校概要の説明

- ・全日制 ア 今年度の学校経営方針と重点課題について(田川校長)
イ 今年度の概況について(間副校長)
ウ その他
校舎大規模改造事業について(保木本事務長)
- ・定時制 ア 今年度の学校経営方針と重点課題について(田川校長)
イ 今年度の概況について(伊藤教頭)
ウ その他

(5) 情報交換・意見交換

【全日制・定時制】

・佐藤評議員：

(本校について)

学校経営にあたっては、これまでの評議員の意見が反映されている。全日制の「品位ある行動を育成する取り組み」にしても、定時制の「社会で自立できる力の育成」についてもしかりである。

校長から明確に方向性が示され、それが教職員へも浸透し、着実に情報発信されることで、取り組み自体が外部からも見えるようになってきている。

(現代の若者気質について)

最近の新入社員は学生時代に奨学金を受けているが、それを給料から返済するために、経済的なゆとりがなくなってきている。そのため、本を買うなど、勉強に注ぎ込む金銭的な余裕がないのではないかと。

また、方向の異なる2つの分野を縦軸と横軸とし、それぞれを学ぶ中で、知識と知識がくっつき、智慧が生まれると思うが、現代の若者は、斜めの一本道でしか学ばない。さらに、人それぞれが異なって当たり前のだが、なかなか自分の本心を見せようとしなない。そのため、優秀であるが、行き詰まってしまい、長続きすることができない。

・永田評議員：

(本校について)

SSH校導入に向けた研究、様々な学力向上への取り組みや進学実績からも、確実に生徒の学力が向上したことが伺えるが、卒業生の4分の1が浪人生という事実も踏まえて指導してほしい。

(現代の若者気質について)

教員採用試験で面接官をしたとき、読んだ本について問いかけると、採用試験の面接のノウハウ本を読破したことを誇らしげに語るものがいた。著書の内容や著者の考えで感銘を受けたことを期待していたが、教員を目指す者ですら、そのような返答であったのは、残念である。

日本人力と呼べる素養が消えた。気持ちに余裕がなく、「どうしたら人に迷惑がかけずに済むか、どうしたら喜んでもらえるか」などを考えながら行動することをせず、その方法すら知らない。このことは、親の育て方に問題もあると思われる。いわゆる美意識に関わる問題である。

(6) 今年度の予定について

- ・第2回評議員会議 10月頃(全日制の部活動見学、定時制を中心とした経過説明他)

(7) 閉会式 校長挨拶